

【教材開発】

研修の成果を生かした教材制作、日本語学習のための e ラーニング開発を行っています！

関西国際センター（KC）では、研修の成果を生かした教材制作、日本語学習のさまざまなニーズに応じた e ラーニング開発を行っています。

教材制作初企画となった『初級からの日本語スピーチ—国・文化・社会についてまとめた話をするために—』は、外交官・公務員研修でスピーチを取り入れ、初級段階であっても知的な話題でまとめた話ができるように工夫したところ、学習者が達成感を感じ、口頭能力も向上するなど高い学習効果を感じたため、一般向けに教材化したものです。『日本語ドキドキ体験交流活動集』は、海外で日本語を学ぶ学習者の短期訪日研修のコースデザインやノウハウを教材化したもので、実際の日本語使用場面に飛び出し、試行錯誤する中で日本語を伸ばし、異文化理解を深める「体験交流活動型日本語学習」を提案しました。KC が大切にしている各研修参加者のニーズへの対応、外部リソースの活用、自律学習支援などを具現化し、多くの日本語現場に還元できる教材制作は、やりがいを感じる仕事です。

e ラーニング開発では、世界中の日本語学習者のニーズに対応した Web サイト、アプリ等の開発を行っています。例えば、「アニメ・マンガの日本語」Web サイトの開発では、まずアニメ・マンガファンのニーズ調査を行い、世界で人気のあるアニメ・マンガを収集、分析して、アニメ・マンガに現れるキャラクターやジャンルの表現が学べるサイトを開発しました。Web サイト制作業者、漫画家、声優などと協力し、打ち合わせを重ねながら、アニメ・マンガの世界観を生かし、ゲームやクイズで楽しく学べるコンテンツを作成しました。公開後、「ファンの気持ちをわかってくれているサイト！」などの声が多く寄せられると、開発の苦労も吹き飛びました。

現在は、日本語学習プラットフォーム「JF にほんご e ラーニングみなど」をオープンし、さまざまな日本語オンラインコースの開発、運用を始めているところです。e ラーニング開発では、それぞれの対象ユーザー像、ニーズ、どんなところでどのように使われるのかをまずはつきつめて考えて、常にユーザー目線で開発するよう心がけています。地理的・時間的・経済的な制約などで日本語の教室に通えない学習者、自分のニーズやペースに合わせて学びたいといった世界中の人々に新たな学習の機会を届けることができる e ラーニング開発は、日本語教育経験を生かしながら、新しい挑戦ができる魅力的な仕事です。

写真：教材、サイト、アプリ、コースの画像など

